



カウニングだより

保育観察エッセイ⁽²⁹⁾

はったつがみえるよ!

～ふんかのこどもたち～

キンダーカウンセラー
園村 和代

♪ 幸いにも、私はキンダーカウンセラーとして、子ども達の中に入って一緒に遊ぶことができます。
毎月1回の訪問で、触れ合う時間は限られていますが、頻度が少ない分、子ども達の成長を感じられることが多く、毎回生き生きとたくましく変わっていく姿がとっても楽しみです♪

1学期の相談日は

4月23日(火)・5月14日(火)・6月11日(火)・7月9日(火)・8月27日(火)

の月一回火曜日です。どなたでも、お気軽にお越し下さい。

子育て支援室「ふんかベビーカフェ」は、6月4日(火)スタート! 毎週火曜日開放しています。

乳児の子育て中のお母さん、予約は必要ありませんので、時間内にお越しいただき、

お茶を飲みながら育児相談や情報交換をして、ぜひ親子でリフレッシュしてください!

ご入園、ご進級おめでとうございます。うらかな春の暖かさと共に、新しい生活がはじまりました。この時期は、子ども達も新しい環境に慣れるため、日々奮闘している事と思います。お子さんを送り出す保護者の皆さまも「大丈夫かな～お友達できるかな～うまくやっているかな～」と、お子さんの様子が気になっている保護者の方もおられるかもしれません。園生活の中で新しい事を経験したり、友だちとの遊びの中で好きなことを発見したりする中で、自信もつき、新しい環境に慣れてくるのではと思います。どうぞ焦らずに、お子さまたちを見守って頂けたらと思います。

現代は、情報がたくさんあふれています。スマホを開けば、自分が知りたい情報がすぐに手に入ります。その中には有益な情報もたくさんありますが、余計に不安に駆られてしまうような情報もたくさん飛び交っています。最近、あるお母さんのお話を聞かせていただきました。精力的に仕事をなさっていましたが、出産のために産休・育休をとられることになりました。ご自身のペースで子育てなさるのを楽しみにされていましたが、愛する我が赤ちゃんが「母乳やミルクをなかなか飲まない」→「夜もこまぎれに何度も起きる」→「離乳食の時期には全く受け付けない」→「身体が大きくならずに周囲から色々と言われる」→ご自身も寝不足で視野もせまくなる…という悪循環が起これ、『母たるものぐちを言っってはならない』という考えに苦しめられたそうです。普段は外交的な方でしたが、思考力も低下して、子どもと向き合うだけの生活になってしまい、どんどん疲弊され、視野もせまくなっていったそうです。その中で、検診で居られた助産師さんが「子育て中は、色々悩むことはつきないと思うけれど、本当は元気で毎日過ごすことができたら、それだけで**良いんだから!**」と言葉をかけてくださったそうです。その言葉には本当に救われたとおっしゃっていました。そこから、地域の支援センターや子育て教室等に通い、人と交わることで「ああ、色々子育て中はみんな大変なんだな、私だけではないんだな」と視野を広げていくことができたそうです。目の前のお子さんとも「こうあるべき」という考えではなく、色々な考え方があり、子どもの成長もそれぞれにあるんだなと、本来のご自分のペースにあったゆったりした考え方をもつ中で、お子さまと関わる事ができるようになったそうです。

子育て中は、日々色々な出来事があり感情が揺さぶられる事もあるかもしれませんが、お子さんとの関係が苦しいものになってしまう前に、どうか周囲を見渡して頂き、ぜひ声をあげて頂きたいと思います。声をあげて頂いた先に、ご自身のベストなタイミングで必要なサポートに出会う事ができたり、毎日の子育てに生かすことができる気付きが、必ずあると思います。今年度も、月に1回保護者の皆さまと個別相談や、園児さんとあそびを通じて関わらせていただきます。大きな悩みでなくても、ちょっとしたことでも話せる子育て相談のように思ってもらえたら良いかと思います。安心して気軽にご相談ください。

キンダーカウンセラーとして、毎月1回、蛭池文化幼稚園を訪問しております臨床心理士の園村和代と申します。普段は民間の相談機関で就学前のお子さんと保護者の方の子育て支援をしながら、兵庫県や大阪府の幼稚園でキンダーカウンセラーをしております。保護者のみなさまが、お子さんとどう関わったらいいのかな? など子育ての悩みや、お友だち同士の関わりや園生活の心配などの相談にのらせていただいております。費用は園負担ですので無料です。また、園児の保護者以外の方も参加可能です。来園が難しい方には、出向いて相談を受けることも可能です。どんな些細なことでも「ちょっと聞いてみたいな～」「こんなときどうしたらいいかしら」というときに、お気軽にお越しください。